

2019・あすか山訪問看護ステーション職員による

「こんなステーションにしたい」 ～ワールドカフェ～

1. こんな職場にしよう

- ・互いの顔を見て挨拶をしあい笑顔があふれ、一人ひとりが輝く職場（3）
- ・尊重され、相手を思いやり尊敬しあい、協力しあえる関係（4）
- ・自身の強みを生かし、楽しく、前向きでポジティブな建設的会話ができ、活気にあふれた雰囲気がある（5）
- ・職員が組織的に後押ししてくれ、学ぶことができる（勤務時間内に）
- ・ありがとうという感謝の気持ちを持ち合う（2）
- ・新しいことにチャレンジする気持ちや、制度の中に納まらないニーズに対して、やりたいことをすることで、自分自身も成長できる（4）
- ・ワーク・ライフ・バランスや業務内容のバランスが整い、時間と心に余裕が持てる（3）
- ・訪問から帰ってきたときにほっとできる職場で、大きな目標にみんなが向かっている実感がもてる（2）

2. 望ましい態度

- ・社会人としてのふるまいができる
- ・お互いの状況を知らないまま、不満は発言しない
- ・患者さんのことを楽しく話し合える（2）

3. コミュニケーション

- ・コミュニケーションをもっととりたい（3）
- ・飲み会でコミュニケーションとりたい（7）
- ・お互いのプライベートのことも少し知っていて、楽しいことも悲しいこともわかちあい支えあうことができる（3）
- ・ただのおしゃべりなど明るい会話ができ、困ったときに相談しあえる（3）
- ・食堂でお昼ごはんを作って皆で、週1回でもシェアしたい（6）
- ・同期会等同年代で集まりたい（2）
- ・具体的方法

MCS を有効に活用する

他職種間で3日体験とか（NSはケアマネ、相談支援員体験）職種間で交流し、お互いどんなことをやっているか、得意なところがあるか理解する

サテライトともっと頻繁に交流したい

3. 管理体制

- ・所長、副所長は事業所に長く滞在し、相談したい時に駆け付けてくれ、常に相談でき、所内を見守っ

てくれる（9）

- ・事務長がほしい
- ・長年の問題がほっておかれない
- ・夕礼（帰りの会）をする
- ・職業人としておかしな態度に対して、管理者がきちんと指導する

4. 訪問看護事業について

- ・教育システム（ラダーによる現任教育・新人教育）が整備されている

訪問看護は、自分の目でしか確認できない怖さがあるのでそれを解消するためのシステムが必要である

現任教育（ラダー）がしっかりしていると、客観的・主観的にレベルがあがり自信につながる

何年目で何が求められることがわかる

- ・教育委員会をたちあげ、マニュアルを整備したい
- ・新入職員のオリエンテーションや初期教育の体制を整備する
- ・客観的評価を受けたい（適正に評価されたい）
- ・専門看護師や栄養士さん、ST等専門家から指導を受ける時間が欲しい（同行）（2）
- ・看護に専念できるよう看護師が行う事務作業や雑務が少ない（ICT化、ハードソフト）
- ・朝の訪問に出かける前に時間的余裕がもてるとよい
- ・ひたすら記録をしてくれる人がひとりいてほしい
- ・定期的に利用者の事例検討をしたい
- ・契約書の利用者にサインを多くしなくてよい契約書
- ・スケジュール調整

システムなどあれば時間が短縮できる（2）

地区エリアごとに訪問調整できず動線がすっきりすると時間的余裕がうまれる

5. 事業所環境

- ・事務所が暑くもなく寒くもなく、空間にゆとり（例えば、ワンフロアー）がある安らげる快適な事務所（4）

- ・ゴミ置き場がほしい（衛星面）（2）
- ・感染物や物品（ゆっくんやホース）を洗う場所があるといい（4）
- ・看護師のテーブルが広いとよい
- ・集中して記録記載する等作業ができるプライベートスペースがある
- ・自分の荷物、個人情報や書類などが保管場所がほしい（3）
- ・一人一つの机と椅子、パソコンが一人一台（5）
- ・coffeeメーカー（バリスタ）でいつでもおいしいコーヒーが飲める（3）
- ・休憩スペースにゆとりがある職場
- ・観葉植物のあるおしゃれな職場

- ・スタッフ出入口のカギを社員証（カードキー）にしてほしい（2）
- ・駅から近い（2）
- ・シャワーに入りたい（3）
- ・テレビ会議の音が良く聞けて重要な連絡が共有できる（2）
- ・掃除などの業務について
掃除、業務を外注（ゴミ出し、ゴミ詰めはシルバーサポートにしてはどうか（3））

6. 業務に必要な物品

- ・物品が豊富な職場、備品を購入してほしい
バッテリー、ユニフォーム、文房具（3）、パソコン（2）、モバイルバッテリーなど災害グッズ、
携帯のケース、ストラップタイプ
職員全員に携帯電話（2）、ipad（4）支給
- ・ペランダのサンダルがもっときれいだとよい

7. 働き方

- ・休憩
昼休憩が全員 100%取れる（3） 昼休みは休憩を交代でとる
昼寝ができると（15分）午後の効率が本当に上がります（3）
- ・事務職の人員が少なく負担が多い（仕事の共有ができていない）
- ・給料
時給がもっと高いほうが良い（2）
稼ごうたい人が稼げる職場（インセンティブ、ベースアップ）
仕事の頑張りが給料に反映される職場
一生懸命働いた分だけしっかりと評価してもらえる職場（2）
仕事の頑張りが給与に反映されると幸せ 能力にみあった給料体制がいい
- ・雇用体系
非常勤と常勤の格差があるが、お互いの想いを知り合える（常勤が契約、リーダーは常勤といった業務を分けるのではなく、非常勤も同様の業務をしてもらって理解を深めることができる）
希望する人は全員常勤（3）
- ・勤務体制
祝日訪問もありにして平日に休みがとれる体制
時間がもてる（落ち着いて相手の話が聞ける余裕を持って働ける環境）
時短勤務をとれる機会を伸ばしてほしい
フレックス出勤（6） 週1月単位でのフレックスタイム制
フレックス 週単位で○時間から○時間
早く出かけて早く帰れたり、遅くなる時は遅く出勤したりしたい

働き方が選べるとよい

・休暇取得

休みたい時に休める（3） 有給がとりやすい

有給を全部消化（2）

「新規は断るな」「昔からいわれている」わかるんだけど思い、新規をとる取らないルールや制限がある職場

残業なくせと拮抗している多くの仕事。理想はわかるけど具体的にどうする、よくなっている実感がある職場

朝早くきて早く帰る（朝の無給をなくす）

有給がとりやすい職場（2）

ラダーなどで評価されるシステム（給料も反映されれば）

残業は分単位でとれるようにしたい 残業がない

疲れすぎず生活と両立できる職場

オンコールパートシステム（パートさんで自分の空いている時間にプラスアルファで働ける

有給の買い取りをしてほしい（残りが消えてしまうから）

収益性を考えた経営戦略をしめしてほしい

評価による平等性

精神的、エリアごと身体的負担軽減

忙しさがかたよらずみんな平等にバランスよくはたらける職場

ある程度のノルマは必要だと思う

仕事は増えるがだらだら継続しているものはへらない